

ニュースリリース

2024年9月19日
メルクグループジャパン

メルクグループジャパンが JR 東海、JR 西日本、JR 九州とCO₂排出量実質ゼロ化サービス 「GreenEX (グリーンイーエックス)」に関するパートナーシップを締結

世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業、Merck KGaA（以下 メルク）の日本法人であるメルクグループジャパン各社（本社：東京都目黒区）は、東海旅客鉄道株式会社（以下 JR 東海）、西日本旅客鉄道株式会社（以下 JR 西日本）および九州旅客鉄道株式会社（以下 JR 九州）の3社とCO₂排出量実質ゼロ化サービス「GreenEX (グリーンイーエックス)」に関するパートナーシップを締結しました。

「GreenEX (グリーンイーエックス)」は、JR 東海、JR 西日本、JR 九州の3社が提供するサービスで、導入した企業の社員が東海道・山陽・九州新幹線を利用する際に、東京から鹿児島中央までの区間で移動に伴う二酸化炭素の排出量が実質的にゼロとなるサービスです。

メルクは、イノベーションを通じて社会に長期的な価値を提供するグローバル企業として、サステナビリティをグループ戦略の優先事項として位置づけ、2040年までに気候中立を実現するため、自社施設における温室効果ガス排出量のスコープ1およびスコープ2を2030年までに50%削減することを目指しています。さらに、2030年までにスコープ3（付加価値1ユーロ当たりの間接排出量）を52%削減することを表明しています。（詳細は[こちら](#)）

引き続き、メルクグループジャパンは、人々の暮らしを豊かにするために、サイエンスとテクノロジーを通じてサステナビリティの推進に努めてまいります。

メルクについて

Merck（メルク）はヘルスケア、ライフサイエンス、エレクトロニクスの分野における世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業です。約63,000人の従業員が、人々の暮らしをより良くすることを目標に、より楽しく持続可能な生活の方法を生み出すことに力を注いでいます。ゲノム編集技術を進展させることから治療が困難を極



ニュースリリース

める疾患に独自の治療法を発見すること、また各種デバイスのスマート化まで、メルクはあらゆる分野に取り組んでいます。2023年には65カ国で210億ユーロの売上高を計上しました。

メルクのテクノロジーと科学の進歩において鍵となるのは、サイエンスへのあくなき探求心と企業家精神です。それはメルクが1668年の創業以来、成長を続けてきた理由でもあります。創業家が今でも、上場企業であるメルクの株式の過半数を所有しています。メルクの名称およびブランドのグローバルな権利は、メルクが保有しています。唯一の例外は米国とカナダで、両国では、ヘルスケア事業ではEMD セローノ、ライフサイエンス事業ではミリポアシグマ、エレクトロニクス事業ではEMD エレクトロニクスとして事業を行っています。

メルクグループジャパンについて

メルクグループジャパンについて 日本における法人各社は次の通りです。

メルク株式会社、シグマアルドリッチジャパン合同会社、メルクエレクトロニクス株式会社、メルクパフォーマンスマテリアルズ合同会社、ヴェルサムマテリアルズ・ジャパン株式会社、メルクバイオフィーマ株式会社、メルクホールディングス合同会社。

メルク株式会社について

メルク株式会社はメルクの日本法人として1968年に設立されました。基礎研究や医薬品製造、創薬などライフサイエンスに関わる製品・サービスを展開しています。メルク株式会社は、ライフサイエンス・ビジネスおよびメルクの管理部門を担っています。メルク株式会社の詳細については[こちら](#)をご覧ください。

メルクエレクトロニクス株式会社・ヴェルサムマテリアルズ・ジャパン株式会社について

メルクエレクトロニクス株式会社、ヴェルサムマテリアルズ・ジャパン株式会社はメルクのエレクトロニクス・ビジネスの日本法人です。液晶材料の輸入販売および半導体 製造用特殊化学品の研究開発、販売・輸出を行っています。メルクのエレクトロニクス・ビジネスの詳細については[こちら](#)をご覧ください。

メルクバイオフィーマ株式会社について

メルクバイオフィーマ株式会社は「メルク ヘルスケア・ビジネス」（本社：ドイツ・ダルムシュタット）におけるバイオ医薬品事業部門の日本法人です。2007年10月1日にメルクセローノ株式会社として発足し、がんおよび不妊を重点領域としています。メルクバイオフィーマ株式会社の詳細については[こちら](#)をご覧ください。

